

令和元年度 生徒会スローガン

夢 限

～We Have "No Limits"～



発行所
下伊那農業高等学校
校友会新聞委員会
長野県飯田市鼎名古熊2366-4
電話 代表 飯田(22)5550番
発行責任者 北原 紗里

【夏休み明けの日程】
8月
21日 SHR 大掃除 始業式
(水)③④⑤授業
22日 復習テスト
23日 ④⑤⑥授業
人権映画鑑賞会 (PM)



平成31年度 入学式



早いもので、僕たちがこの下伊那農業高校に入学して、3週間が経とうとしています。まだまだ学校の中で迷ってしまうことや、先生の名前が分からないことがありますが、クラス全員で協力しがんばって生活しています。

今回は、そんな僕たちの入学式のことを書きたいと思います。新しいブレザー

緊張しまくりの入学式

1年A組 倉田 大輝

を着て、すごく緊張しながら学校に行きました。そして、入学式を迎えました。吹奏楽班の方達の生演奏の中、入場しました。とても迫力があり、とても良かったです。入学式で驚いたことは、入学式に先輩がいらないということ、一人ずつ名前が呼ばれるということ、中学とは環境が違って、とても緊張しました。入学式の中で、初めて校歌を聴きました。その時は、おぼえられるかなと思っていましたが、校歌等練習でしっかりとおぼえることができました。そして、担任の先生や教科の先生が分かりました。やさしそうな先生ばかりで、よかったです。

「自分が好きな子は、勉強熱心で地元愛が高い。一方、好きでない子はスマートフォンに興味が高い」と：そんな傾向が、昨年県内某市で実施された調査から分かったという。この調査は子どもの権利条例の推進計画を策定するために実施され、市内の小学5年、中学2年、高校1、2年の2081人から回答を得た。

「自分が好き」という感情を「自己肯定感」という人と比べて優れているかどうかで自分を評価するのではなく、そのままの自分を認め受け入れ、「自分は大切な存在、価値ある存在だ」と感じる心の感覚である。この感情があると他者やまわりを尊重でき、相互に理解し信頼し合える関係をつくることができる。

では結果を見てみよう。自己肯定感を測る「自分のことが好きですか」の問い

自己肯定感を高めよう

学校長 村澤 博富美

「自分が好き」という感情を「自己肯定感」という人と比べて優れているかどうかで自分を評価するのではなく、そのままの自分を認め受け入れ、「自分は大切な存在、価値ある存在だ」と感じる心の感覚である。この感情があると他者やまわりを尊重でき、相互に理解し信頼し合える関係をつくることができる。

では結果を見てみよう。自己肯定感を測る「自分のことが好きですか」の問い

「自分が好き」という感情を「自己肯定感」という人と比べて優れているかどうかで自分を評価するのではなく、そのままの自分を認め受け入れ、「自分は大切な存在、価値ある存在だ」と感じる心の感覚である。この感情があると他者やまわりを尊重でき、相互に理解し信頼し合える関係をつくることができる。

「入学式・感想」

1年B組 宮澤 翔

私は下伊那農業高校に入学することが中学の時の夢でした。

前期の合格発表の日に担任の先生から「合格おめでとう」と言う言葉と合格通知の紙が同時に渡され、うれしさのあまり立ち上がってさわぎました。私はこれで下伊那農業高校にはいれると思いき、入学式を楽しみにしていました。

先輩達との顔合わせの時、入学式のときより緊張



して、恐怖していました。私は親から「昔の先輩は生タマゴをなげてきたり、竹刀を持って教室に来るぞ」とおどされ結構びびってました。ですが顔合わせの場るとき、きがるに話しかけてきてくださったので、すごくやさしかったです。先輩たちの中にも知ってる人がいて結構しゃべりやすくてよかったです。

入会式の感想

1年B組 柳生 虎汰

大きな制服に身を包み、ぼくたちは入会式を迎えました。僕はとてもきんちようしてなかなか落ち着きませんでした。

入学式で担任発表があり、ぼくたち農業機械科の担任は奥田先生に決まりました。クラスのみんなのことはほとんどだれも知らなくて、これから先みんなと仲良くなることのできるかととても不安でした。入学した時は同じ中学校の人しか話せなかったけど、クラスのみんながぼくに明るく積極的に話しかけてくれて今ではクラスのみんなに話したりして仲良くなることになりました。

入会式

1年C組

板倉 和奏

入学式を終えてしばらくしてから、入会式がありました。まだ学校に慣れていない私たちが、吹奏楽班による演奏と、先輩方からの温かい拍手で迎えてくださり、嬉しかったです。

入学式では、校長先生からのお話、一年生のくす玉割り、先輩方による校歌の合唱などたくさんありました。くす玉割りの時は、一年生の各クラスから代表者が四人前に出て割りました。そして、高校の目標について全校生徒の前で言いました。

人前で話す事は苦手だったので、とても緊張したことを覚えています。ですが、人前で言ったからこそ、改めて自分の意志が固まったと思います。そして、自分の周りにも高い志を持って入学した人がいるのだと実感し、自分もこ



1学年行事

アグリ研修の感想

1年A組 岡田 大和

先日、僕は中京学院大学と東山動物園にアグリ研修に行きました。中京学院大学では食生活と栄養バランスについて学びました。人は最低でも1日に3000キロカロリーを取らないといけないという事を知りました。なので、これからの食生活では、バランスのよい食事を取り、不足していると思ったら、誰でも簡単に作れるスムージーなどを作ったりして、栄養バランスを整えていきたいです。東山動物園では、僕は動物ではなく遊具に興味がありました。そして、僕が観覧車に向かう時、一匹のチーターが僕に問いかけるように見つめて「僕達(動物)を見てくれ」と言われた気がして、僕は決心



高山自動車短期大学

1年B組 伊藤 紘毅

僕は初めて高山自動車短期大学へ行きました。短期大学では、2級自動車整備士または1級自動車整備士が必ずとれるという事を知り、驚きました。高校では、3級自動車整備士しかとれないので大学はすごいところなんだと思います。また、高山自動車短期大学では、科目ごと分かれていました。1級自動車や2級自動車整備士に分かれていました。僕は、2級自動車整備士のラーカーをつくっている場所に興味を持ちました。ラーカーとは、雪道や山道や公道などあまり道がよくないところを走ります。普通の車と違って軽量化されたり、二トロが積んでありました。実際に乗車させていただきました。車の補強がしており、乗り降りがすごく大変でした。でも安全のために必要なことだと思いました。他にも、二輪バイクなどがありました。すごく貴重な体験をさせていただき、すごく感謝しています。また、車庫があり、そこでは多くの車がありまして、タイヤ交換やエンジン

の交換など各部分の部品の交換などをしていました。自分も勉強をして、入ってみたいと思います。就職にも強く、今整備士が少なくなってきたので、1人でも多くほしがっているので、将来整備士になって、車をなおしたいと思っています。



アグリ研修

1年C組 大蔵 美咲

私達C組は、5月21日のアグリ研修で信州大学繊維学部と信州花フェスタに行ってきました。はじめに信州大学に行きました。そこで、有賀先生が通っていた繊維学部の研究を見てきました。3つの講座があり、それぞれ見えてきました。私の班は、植物の栽培、蚕の研究

そして最後に遺伝子の研究を見てきました。どれも私にとって聞きたくない単語ばかりで、大学の勉強は高校の勉強より専門的なんだなと思いました。難しい話ばかりでしたが、その中でもおもしろかったのが遺伝子の研究です。実際に顕微鏡を使って花粉の遺伝子を見てみました。現代の技術がいかに進んでいるのかが分かりました。しかし、先進の技術を使うだけでなく、少し前の技術である放射能を利用していることも分かりました。昔のものも新しいものも、両方の良いところを使って今の技術をささえてい

初めてのアグリ研修

1年D組 澤柳 美友

私達1年D組は、アグリ研修で山梨へ訪れました。見学場所は山梨学院大学・信玄餅の桔梗屋・シャトー酒折ワイナリーでした。山梨学院大学では、雨だつたため校内の見学ができませんでしたが、大学内の1室で大学の施設の説明と、学科の説明をしていただきました。事前の授業で大学の事を調べましたが、

山梨学院大学では、雨だつたため校内の見学ができませんでしたが、大学内の1室で大学の施設の説明と、学科の説明をしていただきました。事前の授業で大学の事を調べましたが、



山梨学院大学では、雨だつたため校内の見学ができませんでしたが、大学内の1室で大学の施設の説明と、学科の説明をしていただきました。事前の授業で大学の事を調べましたが、



初めてのアグリ研修は、1日だけでしたが内容の濃い1日だったと思います。今回新たに学習したことを今後生かせるらいたいと思います。

製造についてを学びに行きました。ワインといっても、それぞれ種類によって製造方法やぶどうの熟成期間が違うことなどを知ることができました。ワイナリーで学ばせていただいたことを授業に生かしていけると思

校内発表

校内発表をして

2年C組 山本蒼天

ある日の午後のSHR後、担任の先生に、「意見文を読んでくれ」と言われまして。正直何のことだかよく分からずに、「分かりました」と言ってしまうました。その後何日かたった日、先生に呼ばれて、春休み中に自分が書いた原稿をもとに、新しいまとまったものを書き始めました。しかし、これがなかなか捗りませんでした。毎日、生物工芸室で、放課後に原稿を練っていました。このときは、「やらなければよかった」と常々思っていました。読み終わってからは、「あゝ、かみすぎだ」と、また「やらなければよかった」と思いました。

本番では、壇上に立つ前からとても緊張していましたが、自分の番になると、緊張が舌が回らず、途中でどろどろと読んでいたのか分からなくなっていました。頭の中が真っ白になってしまったので、読み直しを繰り返してしまいました。読み終わってからは、「あゝ、かみすぎだ」と、また「やらなければよかった」と思いました。

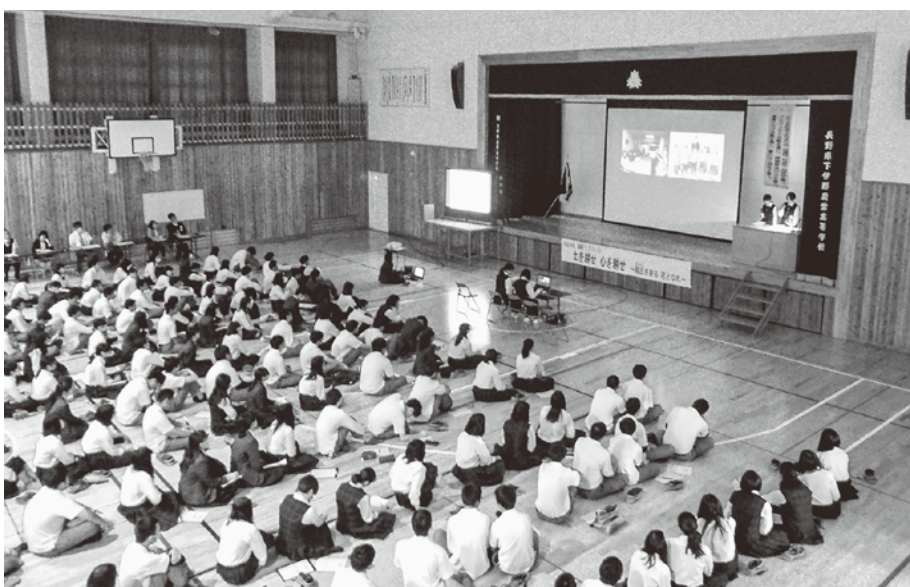


校内発表会

2年D組 本島幸奈

5月23日に校内発表会がありました。私は2年D組の代表として意見文を発表しました。春休み一人ずつ書いた意見文の中から選ばれました。誰が聞いても分かりやすいように、農業の専門的な言葉の説明を増やしたり、家の農業や地域の農業の問題を調べ、自分たちができることをまとめました。そして、1ヶ月程前から先生にも意見をもらいながら修正していききました。私は人前の立つことがとても苦手で、全校の前で発表したことはありませんでした。そのため、当日も朝からとても緊張していました。専門班の研究発表の後、私たちの意見発表でした。自分の名前が呼ばれ、イスから立ち上がりマイクまで移動するときは足がガクガクしました。しかし、いざ発表を始めるとみんなに自分の思いを伝えたいという気持ちが強くなり、あまり緊張せず、はっきりと意見を述べる事ができました。発表を終えて、友達からは「堂々と発表してすごかったよ。」などと言ってもらいました。

こうやって書いていると、自分はずっと、「やりたくない」と思っていたんだなと思います。しかし、この経験を通してクラスなど、少しづつ話せるようになり、まだ話したことがない人が多くいます。話が、400人を前にして話すよりよっぽどマシと思えるようになり、話せる人が多くなったのは、とても嬉しいことでした。



芸術鑑賞

芸術鑑賞

1年D組 壬生彩葉

私達1年生にとって高校に入って初めての芸術鑑賞がありました。テーマは「ラテン音楽」で、今まで音楽の授業で名前だけなら聞いたことはあったけど、どういうものなのかよく分かってなかった事もあり、とても新鮮でした。

3つ目はラテン系のダンスの「サルサ」を踊るコーナーで会場全体が一体となって「サルサ」を実際に踊ってみたいと思います。私たちが楽しんでいるものよりも、もっと楽しいものがあると思います。色んなラテン音楽を聞いてみたいと思います。

芸術鑑賞を通しての感想

2年A組 小池真裕

私は今回の芸術鑑賞を通して初めて、サルサ音楽というものを聴きました。今回演奏してくださったのは、「オルケスタ・デ・ラ・ルス」の方々です。私は印象に残っていることがいくつかあります。まずは、曲をサルサ調に変えることで雰囲気ガラッと変わりました。例えば静かな曲調の「翼をください」でも、明るく楽しい曲になりました。次に、ノラさんとお話ししてくださったように、最初は困難なことでも努力をすれば夢や

目標に近づいたり、叶えられたりするということがあります。努力したらすぐ叶うわけではないけれど、いつかはその努力が報われるという自信をもらいました。会場が1つになってタオルを振ったり、ステップを踏んだりしたことも良い思い出になりました。



球技大会

最後の球技大会

3年A組 渡邊 唯

先日行われた球技大会は私達3年生にとって最後の球技大会でした。今回の球技大会は女子のキックベイスがソフトテニスになったり、クラスTシャツが作られたり等、色々変わりました。新しく作られたクラスTシャツはクラスの団結力を高めていたと思います。私は今回バレーをやりました。バレーは2年生の頃からやりだした種目だったため、朝や昼の練習できる時間にもたくさん練習しました。ずっと練習していた上からのサーブは結局、入らないことが多かったため断念しました。それでも、練習した分、ボールを回してもらえることが増えたので、頑張つてよかったと思います。2日目の試合では、1試合目は勝ちましたが、2試合目には負けてしまいました。職員との対戦

6月13日と14日に球技大会がありました。私はバレーボールに出場しました。本番までの練習では、試合形式で練習して試合に向けて練習を重ねていきました。レシーブやトスはとても難しかったのですが、やっていく内に安定してできるようになりました。そして迎えた本番は、試合前は、経験者なしのチームだったので、勝てるか不安だったのですが、結果として、準優勝することがで

球技大会を振り返って

3年B組 吉澤 裕馬

最初は緊張して、動きがぎこちない人が多かったのですが、試合を重ねるにつれて、思うようなプレーができて、練習の時にはあまりできていなかった声かけなどもできていたのが、よかったです。優勝はできなかったのですが、少し悔しい気持ちもありましたが、経験者がいないこのチームで決勝まで行くことができたのが、とても良い思い出になりました。



会になったと思います。3Aは女子バレー優勝、女子バドミントン優勝、準優勝、男子バドミントン準優勝と、4つの賞ももらえて、とても盛り上がりました。今回の球技大会を経て、以上にクラスの団結力が上がり、行事に全力で取り組める素敵なクラスになったと思います。最後の球技大会は3年間で一番楽しいものになりました。



初めての球技大会で

1年C組 松下 紗貴

私が今年の球技大会で選んだスポーツはテニスです。テニスは経験がなく慣れるのにたくさん時間がかかってしまいました。サーブや打ち返すのもとても大変でなかなか上手くできませんでした。上達しないまま本番をむかえてしまったので、とても心配でした。やはり、サーブも入らなかつたり、上手く打ち返すこともできませんでした。私も、この球技大会で思ったことがあります。もちろん、勝つことも大事だと思いますが、一番大事なものは、チームの仲間との「協力」なのではないかなと思います。

農業クラブ各種大会

県大会

3年C組 猪 又 あゆみ

先日行われた、農業クラブ・フラワーアレンジメント県大会へ参加しました。私が県大会に参加したのは、2回目でした。去年は初めてで、すごく緊張していましたが今年には緊張しな

フラワーアレンジメント競技会

3年C組 滝 沢 きよら

私は、6月22日に下高井農林高等学校で行われたフラワーアレンジメント競技会の県大会に出場しました。ベシックとフリー二つの作品で審査されました。ベシックの形は毎年抽選で決まり、今年はトライアンギュラーでした。ベシックで難しいと感じた点は、バランスと菊の入れ方です。また、50分という限られた時間内で制作しなければならぬので、練習しておりました。本番では、練習どおりで、審査員の方に褒めて頂けて嬉しかったです。フリー作品は、自分達でデザインを決めるところか



きる作品ができました。遅くまで頑張った分、その成果が出たと思います。結果としては優秀賞がもらえましたが、全国大会へ出られない悔しさがあります。ですが、努力した分の結果が出て、楽しみながら取り組めたのでよかったです。

多くの人にも協力していただいたおかげでもありますが、ありがとうございます。大会当日は自分が納得でら始まりました。まずはイメージを作って、それに合った花材を探しました。私は初夏の清涼感を出したかったので、白や緑の花材を中心に使い、器の半分を水が見えるように空間をあげました。メインの花は地元の農家さんから頂いた白いダリアを使いました。最初はなかなかイメージが固まらず苦労しましたが、先生方にアドバイスをもらって良い作品ができたので良かったです。

私は初出場でしたが、緊張しながらも楽しみながらできました。目標としていた優秀賞はとれませんでした。ですが、とても良い経験ができたと思います。

5月の風

今回発行した学園タイムズは、入学式、芸術鑑賞、球技大会など内容の濃い新聞となりました。皆様、目を通していただけましたか。毎年同様、原稿回収には苦労しましたが、締め切りまでに間に合わせる事ができました。ご協力ありがとうございました。(新聞委員長 北原紗里)